

センターだより第33号
令和7年2月18日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規受託項目について(お知らせ)

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、下記の項目におきまして外注先の株式会社エスアールエルより新規受託開始の連絡がありましたのでご案内いたします。

今後とも当臨床検査センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

■ 受託開始日

2025年2月19日(水)

■ 新規項目内容一覧

項目コード (4桁コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2549400 (6155)	S2,3PSA% 5D304-0000-023-024	血清 0.5	生化学	冷蔵 (7日)	2~7	248 ※5	LBA(LBA- EATA)	38.0未満 (カットオフ値) (%)	

※5:生化学的検査(Ⅱ)判断料

● S2,3PSA%に関する留意事項

- ・ 前立腺特異抗原(PSA)の結果が4.0~10.0ng/mLの患者検体でのみ依頼できます。
- ・ 上記に当てはまらない場合や検診・健診目的では使用できません。

臨床検査センターに関するお問い合わせやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。

連絡先: 鹿児島市医師会臨床検査センター (099) 226-8827

● S2,3PSA%

PSAグレーゾーン症例において、前立腺癌の診断補助に有用な検査です。

前立腺特異抗原(PSA)は前立腺癌における有用な腫瘍マーカーです。しかし、グレーゾーンであるPSA 4.0~10.0ng/mLの場合、単独では良性疾患である前立腺肥大症か、悪性疾患である前立腺癌かを鑑別することができません。

従来はPSA F/T比などでグレーゾーンの鑑別の補助を行ってきましたが、近年、正常組織由来PSAと癌組織由来PSAの糖鎖構造の違いを活用して鑑別を行うS2,3PSA%が保険償還されました。

本検査は、S2,3PSAとS2,6PSAの総和における、癌組織由来の分画であるS2,3PSAの割合(S2,3PSA%)を報告する項目です。

▼疾患との関連

▼関連する主な検査項目

前立腺癌

前立腺特異高原(PSA)
PSA F/T比

▼検査要項

検査項目名	S2,3PSA%
項目コード (旧項目コード)	2549400 (6155)
検体量	血清 0.5 mL
容 器	生化学
保 存 方 法	冷蔵保存してください
所 要 日 数	2～7日
検 査 方 法	LBA(LBA-EATA)
基準値(単位)	38.0未満(カットオフ値) (%)
検査実施料	248点① (「D009」腫瘍マーカー「31」)
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備 考	

1

- ア 「S2, 3PSA%」は、前立腺癌であることが強く疑われる者であって、前立腺特異抗原(PSA)の結果が4.0ng/mL以上10.0ng/mL 以下である者に対して、LBA 法(定量)により、S2, 3PSA%を測定した場合に限り「前立腺特異抗原(PSA)」の2回分を準用して算定する。
- イ 本検査は、前立腺癌の診断に当たって実施した場合に、原則として1回を限度として算定する。ただし、前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。
- ウ 「S2, 3PSA%」と、「前立腺特異抗原(PSA)」、「遊離型PSA比(PSA F/T比)」又は「プロステートヘルスインデックス(phi)」を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。
- エ 診療報酬明細書の摘要欄に、前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日及び測定結果を記載すること。また、本検査を2回以上算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその必要性を記載すること。

●参考文献

米山 徹, 他: 医療と検査機器・試薬 46(5):244~257, 2023. (検査方法参考文献)

米山 徹, 他: 日本臨牀 81 (増6): 58~64, 2023. (臨床的意義参考文献)